

議会だより

あまぐさ

No.205

平成27年11月1日

発行:愛知県大口町議会



特集 一般会計歳入決算額85億4457万円

2~3

法人町民税の伸びが、町財政を支える

マイナンバーへの対応は?

4

一般質問 自主防災会 複数年任期の組織体制の確立を

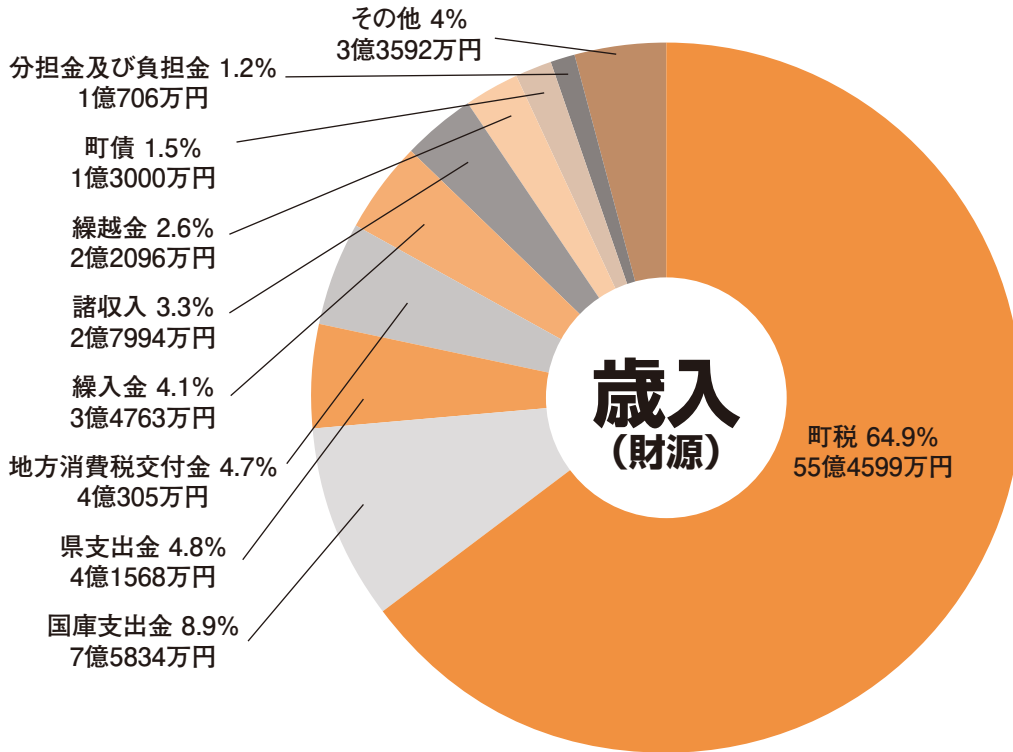
8

議会報告会にお越しく下さい

15

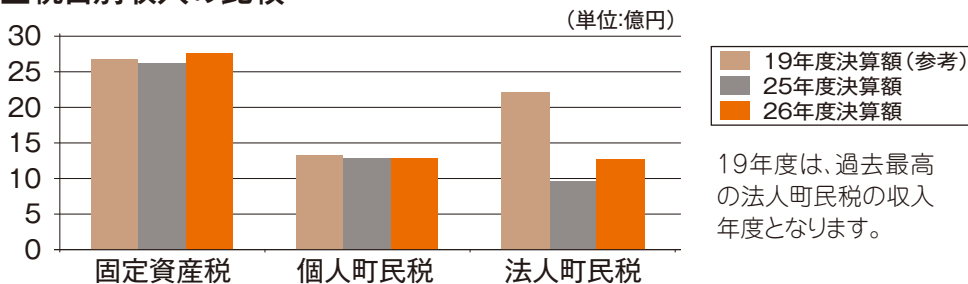
平成26年度決算を認定

一般会計歳入決算額 85億4457万円
(前年比9億7377万円増)



法人町民税の伸びが、
町財政を支える

税目別収入の比較



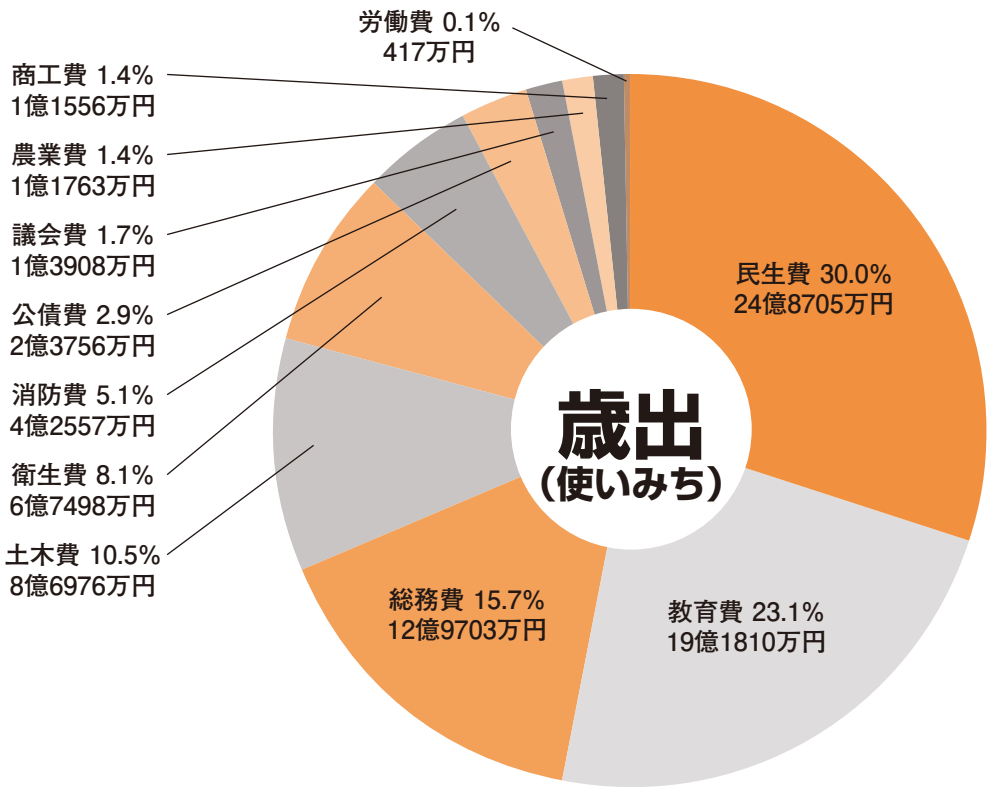
9月定例会を、9月1日から25日までの25日間の会期で開催しました。

- 町提出(13議案) 特定個人情報保護条例の制定や補正予算、昨年度の決算認定など採決の結果 [賛成多数] 老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の改正、今年度の一般会計補正予算、昨年度の決算認定等の4議案 [全会一致] 他の9議案
- 請願及び陳情 採決の結果 [採 択] 請願1件及び陳情2件 [聞きおく] 陳情1件
- 議員提出議案及び委員会提出議案 採決の結果 [賛成多数] 1議案 [全会一致] 4議案

(関連記事 P6)

一般質問では、7議員が町政全般にわたり質問しました。

一般会計歳出決算額 82億8649万円 (前年比9億3665万円増)



決算額増額の主な要因は、歳入では、法人町民税が約3億1千万円(前年対比32.5%)増加したこと、電気輸送用機械器具や金属製品の製造業を中心に業績が好調だった

たことによるものです。歳出では、教育費が約11億円(前年対比134.1%)増加したこと、中央公民館耐震補強改修、小中学校のパソコン更新等

また、財政分析指標は、引き続き健全な状態が保たれています。

■平成26年度会計別歳入・歳出決算額

会計名	歳入決算額	歳出決算額	差引額
一般会計	85億4457万円	82億8649万円	2億5808万円
特別会計			
国民健康保険	21億230万円	20億7388万円	2842万円
介護保険	9億8269万円	9億6239万円	2030万円
公共下水道事業	7億8485万円	7億8485万円	0万円
後期高齢者医療	2億1536万円	2億1518万円	18万円
農業集落家庭排水事業	2746万円	2746万円	0万円
土地取得	2059万円	827万円	1232万円
社本育英事業	1944万円	1070万円	874万円
国際交流事業	561万円	561万円	0万円
小計	41億5830万円	40億8834万円	6996万円
合計	127億287万円	123億7483万円	3億2804万円

■財政分析指標の推移

	19年度 (参考)	25年度	26年度
財政力指数 (単年度)	1.61	1.11	1.18
経常収支比率	61.2%	77.2%	74.4%
実質収支比率	9.1%	3.7%	3.6%
公債費比率	1.7%	△1.1%	△1.4%

財政力指数とは、地方自治体の財政力を示す指数。過去3年間の平均で1未満になると、交付団体となります。

基金(預金)

一般会計	残高	32億5852万円
特別会計	残高	6億3882万円
合計	残高	38億9734万円 (前年比 1億5393万円増)

町債(借金)

一般会計	残高	27億4938万円
特別会計 (下水道)	残高	38億161万円
合計	残高	65億5099万円 (前年比 2億6258万円減)

※数値は端数調整してあるため、合計が一致しない場合があります。

質疑あれこれ

議案質疑、総務建設及び文教福祉の各常任委員会での主な質疑を掲載します。

条例の制定・改正

特定個人情報保護条例

特定個人情報の取扱いを新たに定める。

- *個人番号(マイナンバー)：一人につき一つ指定される12桁の番号。
- *個人情報：氏名、生年月日等で、特定の個人を識別できるもの。
- *特定個人情報：個人番号が含まれた個人情報。



【おもて面】

11月以降、郵送される通知カード(出典:総務省)

問 特定個人情報として扱うのは。

答 マイナンバー法で決められた使用用途のもの他、法に反しない範囲で各自治体が条例で定めた業務に使うことができる。その業務に個人番号が含まれていれば特定個人情報になる。町が使う特定個人情報、現在のところ、具体的に示せる状況にはない。

問 認知症や単身の障がい者の方にはどう対応するのか。

答 成年後見人がいる場合はその方に、いない場合は家族や生計を共にしている方に説明する。

問 住民に制度を知ってもらうため、より周知が必要では。

答 町広報8月号及び9月号で2ページの特集を組んでPRした。今後も理解してもらえよう広報に努める。

老人福祉センターの設置及び管理に関する条例

老人福祉センターと生きがい活動支援センターを区分し、指定管理者が行う業務の範囲を明確にする。

問 近隣では、年齢によって老人福祉センターの風呂を無料にしている市町もある。なぜ町は有料か。

答 利用者の負担により施設の運営を支えるという考え方のため、有料としている。

利用料は無料に越したことはないが、町としては、他市町が無料だから

町も無料にしようという施設全体の管理運営で消耗戦にはしたくない。えていくべきだと考えている中、風呂のみでなく、

平成27年度一般会計補正予算

〔法人町民税〕

問 決算が黒字の法人は。

答 町内には約650の法人がある。決算期が異なるため抽出が難しいが、平成26年度に法人税割を支払っている法人を黒字とするなら287社である。

〔温水プールのボイラー更新工事費等〕

問 ボイラーの更新工事の際、温水プールの営業が止まることはあるか。

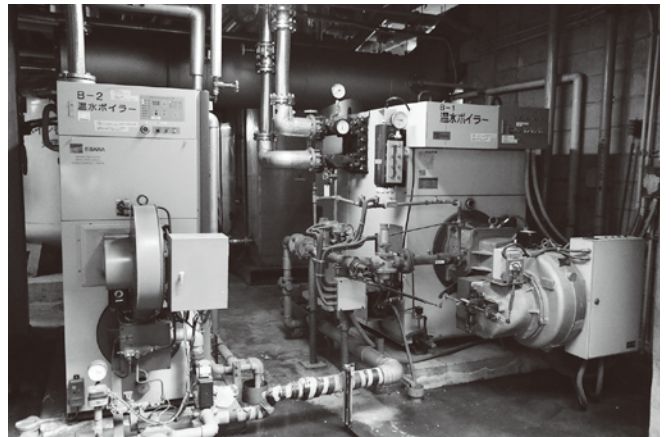
答 12月14日以降の水の入れ換え時期に施工し、プール営業に支障のないようにする。

問 「中学校の卒業式などに使用するひな壇」「温水プールのボイラー更新工事」「中央公民館冷暖房機保守点検委託料」等、全体で3千万円を超える補正予算額である。本来は当初予算で措置すべき案件では。

答 当初予算の案件であると考えるが、利用者や子どもたちの安全を考え、補正予算で対応した。

問 安全を考えると、切羽詰まった状態に対応するのではなく、機械の耐用年数等を考慮し、早め早めに対応していただきたい。

【答】 予備費での対応も考えたが、議会で説明すべきと判断し補正予算で計上した。予算措置に当たっては後手に回らないようにしていきたい。



温水プールのポイラー(更新するのは右側)

平成27年度 特別会計補正予算

【国民健康保険】

【問】 複数の病院で同じ薬を処方・服用し、調子を崩す方もいる。医療費抑制の注意喚起も必要では。

【答】 26年度から、一定の要件に該当した方に対し、先発医薬品を後発医薬品に切り替えた場合の差額通知をしていく。

【介護保険】

【問】 介護をされる方が増えている。今後、介護予防をどう進めるのか。

【答】 国のモデル事業「地域づくりによる介護予防推進支援事業」に手をあげた。岡山県津山市の職員を広域アドバイザーで招き、手や足にももりをつけて筋力アップを図る体操を、さつき地区、豊田地区で試行し、介護予防を啓発していきたい。

平成26年度 一般会計・特別 会計決算認定

【歳入】

【問】 税の時効は何年か。滞納に対する差押えの実績は。

【答】 時効は5年である。差押えは32件行った。

【歳出】

【問】 税を滞納している場合、借金のため多重債務となっている場合もあり、相談窓口へ繋げてほしい。

【答】 納税相談では債務の話も聞き取りしながら、1年程度で納税が完了するよう話をしている。多重債務相談は月1回開催されており、プライベートを侵さない範囲で案内していく。

【問】 コミュニティバスの乗客数の状況は。

【答】 毎日運行便、土日曜日の乗客数が伸び悩んでいる。朝夕の便では、一部企業の通勤形態の変更に伴い、より町負担額が増加した。バスサポート隊と協働しながら乗客数の増加に向けて取り組んでいく。

【問】 給食の残菜量は、県と比較してどうか。

【答】 県の残菜量平均値は小学校5.5%、中学校4.2%。それに対し、町は小学校10.1%、中学校8.0%で、いずれも残菜量が多い状況にある。献立委員会等で栄養士と反省点を指摘し、できるだけ子どもに食べてもらえるような献立を検討している。

【問】 ふれあい池の利用者の数の推移と今後は。

【答】 平成23年度は727人、24年度は500人、25年度は614人、26年度は394人で減少傾向にある。ふれあいまつりでは賑わいをみせており、当面は現行の形態で利用していくが、今後の有効利用のあり方を検討していく。



バス停ベンチを作るバスサポート隊のメンバー

賛否の分かれた議案

他の13議案は全員賛成で可決

○=賛成
×=反対

議案名	議員名													結果		
	船戸	吉田	岡	酒井	鈴木	大竹	伊藤	柘植	齊木	大島	丹羽(孝)	宮田	丹羽(勉)		木野	倉知
特定個人情報保護条例の制定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成27年度一般会計補正予算(第4号)	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成26年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
議員提出議案 自動車関係諸税の簡素化・負担の軽減についての意見書	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

(議長は裁決に加わらないため空白)

討論があつたら議案の審議結果は左のとおりです

反対討論

吉田 正

マイナンバー制度は、なりすましを防ぐことができず、情報漏えいを防ぐ完全なシステム構築が不可能であるのは、これまでの事件からも明らかで、度情報漏れたら取り返しがつかない。町は制度の利用を延期すべきである。

特定個人情報保護条例の制定

賛成討論

伊藤 浩

個人番号が利用できる業務や取扱者は法で規定され、違反者には罰則がある。個人番号を含んだ特定個人情報の適正かつ安全な取扱いを定めることは必要不可欠であり、制度を確立させるために条例の制定が必要である。

反対討論

吉田 正

近隣市町の風俗は無料にもかかわらず、町は有料を続けようとしている。老人福祉センターの風俗は、高齢者を大切にして、無理のない生活の維持に必要であり、町は料金を無料にすべきである。

老人福祉センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

賛成討論

伊藤 浩

老人福祉センターは開設以来、世代を超えた交流や健康づくり事業に取り組み、日々、地域の人が集い、利用者の方々の一部負担によって支えられている施設である。

反対討論

吉田 正

マイナンバー制度の導入は国費が3400億円にのぼり、今後、どの程度維持費がかかるかわからない。中小企業の経営も圧迫し、制度を肥大化させても国民の福祉はよくなるらない。町は制度の利用を延期すべきである。

平成27年度一般会計補正予算(第4号)

岡 孝夫

町及び議会の責務の一つとして、行政施策の安定的な継続がある。補正予算に計上されている各種基金の活用などの姿勢を高く評価する。

反対討論

吉田 正

消費税増税はやめてほしい。公共料金が増え、値上げされる一方で、中小企業の多くは賃上げできず、個人消費も伸びない。子育て支援、障がい者への助成、巡回バス、図書館建設、給食センターなどの問題を指摘し反対。

平成26年度一般会計及び特別会計歳入歳出決算認定

賛成討論

伊藤 浩

住民の福祉増進のために計画的に取り組み、少子高齢化社会に対応するため、将来に繋がる施策が講じられている。一般会計及び特別会計ともに、各分野で適正かつ効率的に予算執行され、適切に処理されている。

反対討論

吉田 正

自動車関係諸税の増税には反対だが、消費税増税にも反対の立場である。社会保障と税の体改革は、法人税を減税して消費税を増税し、社会保障の財源を賄うものである。自動車関係諸税を無税化したとしても景気は向上せず、車も売れない。

自動車関係諸税の簡素化・負担の軽減についての意見書

賛成討論

岡 孝夫

自動車に関する現行の税制は不公平で、所有者の大きな負担となっており、早い段階で解決する必要がある。

請願・陳情

9月議会に提出された1件の請願、3件の陳情は、所管の常任委員会が審査しました

【請願】

・定数改善計画の早期策定実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める請願書

(全員賛成で採択)

請願者

尾北地区教職員組合

執行委員長 瀬上圭太 他89人

紹介議員

岡 孝夫

【陳情】

・国の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

(全員賛成で採択)

・愛知県の私学助成の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書

(全員賛成で採択)

・私立高校生の父母負担を軽減し、学費の公私格差を是正するために市町村独自の授業料助成の拡充を求める陳情書

(聞きおく)

陳情者

代表 土居 修

私学をよくする愛知父母懇談会

会長 安井浩樹

愛知私学助成をすすめる会

会長 中川初枝

ここが聞きたい!

一般質問

町政を問う

7議員が質問

「一般質問」とは、行財政にわたる議員主導による政策の議論です。(通告順)

大竹 伸一	自主防災会 複数年任期の組織体制の確立を 災害発生時 児童生徒の対応は	P 8
酒井 正宗	役場本庁舎の太陽光発電の能力と設置時期は 風力発電、マイクロ水車発電の検討は	P 9
丹羽 孝	固定資産評価シートの整備促進を 選挙公報の発行を	P 10
吉田 正	国保税 所得が低いほど負担が重い マイナンバー 悪用されないか	P 11
岡 孝夫	フェイスブック等、SNSの活用は あいち森と緑づくり事業 民有地の緑化推進要綱の整備を	P 12
宮田 和美	スマートフォン 小中学生の使用を禁止しては 柿野橋下流側に歩道橋を	P 13
柘植 満	子ども読書通帳の導入を 特定外来生物の駆除を	P 14

追 跡

以前の一般質問から

あれから どうなった?

以前の定例会で取り上げられた一般質問の中から、その後の町政にどのように反映されたかを調査しました。

平成26年9月議会(丹羽 孝)

防犯灯の設置基準が必要では

問 地区の防犯灯数に差があり、夜間の安全に差が出るのは問題。町の設置基準が必要では。

答 現時点では基準作成は考えていない。

行政区交付金を見直し、来年度から防犯灯の設置、修繕等は町が全額負担する。基準は、地域の状況を勘案し決めていく。

質問者の満足度



がんばれ

周辺環境に合わせたバランスのよい設置基準を期待しています。

平成26年9月議会(柘植 満)

落雷予兆に雷センサの導入を

問 人が判断しにくい落雷の予兆を察知し、落雷警戒メールを配信する雷センサを導入するなど、落雷事故防止対策の検討を。

答 他市での検証結果や住民への周知方法も含め、雷センサの導入に向けて検討していく。

4か月の試行期間を終え、平成27年8月から雷センサの賃貸借契約を開始した。各小中学校、体育協会等に情報を配信し、年度内に活用方法等を協議していく。

質問者の満足度



にっこり

よかったです。

どうなった



大竹伸一

自主防災会

複数年任期の組織体制の確立を

部長 複数年を担当する人材が必要

大竹 自主防災会の組織は、一部を除き各区の役員で構成され、1年任期で交代されている。役員以外の防災リーダーを養成し、複数年任期の組織体制を確立してはどうか。

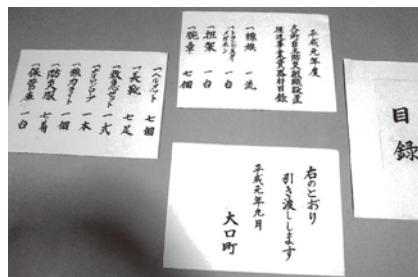
地域協働部長 自主防災会の組織を区の役員が兼ねるのは、地域の情報収集の点で重要であるが、継続的な活動には、複数年防災を担当する人材が必要である。

5市町防災カレッジ等の研修を通じて、多くの人が地域で活躍していただきたい。

大竹 平成元年に各地区に備品として防災器材が配備されたが、それらの点検や見直しは。

地域協働部長 器材の給付後、消耗品の交換や補充は自主防災会の設備補助として行政区交付金の中でやっているが、町は管理状況まで把握していない。今後、各自主防災会に

管理状況や点検を依頼し、器材の見直しは、その結果を受けて検討したい。



平成元年、配布された防災備品の目録

災害発生時

児童生徒の対応は

部長 訓練を通じて安全確保

大竹 地震や暴風警報等の安全対策は。発令時の児童生徒

生涯教育部長 各学校で、各学年初めに保護者に対し、災害発生時や警報発令時の対応について書面でお知らせし、児童生徒の安全確保に努めている。

また、児童生徒に対しては、災害対応マニュアルに基づいた訓練や防災教育を通して指導している。

大竹 災害時は、助けられ、助け合うという自立精神の包容が欠かせない。訓練を通したイメージトレーニングとして、防災学習を取り入れ

てはどうか。

教育長 中学校の避難訓練では、

「中学生が一緒に避難する小学生の手を握りしめ、車いすの老人を必死に押し、互いに励まし合った」

という「釜石の奇跡」と呼ばれている中学生の行動を伝えた。引き続き、様々な機会を通じて、学校生活の中で指導を重ねていく。



丹羽消防署員の説明を受ける西小学校の児童

役場本庁舎の太陽光発電の能力と設置時期は

部長 蓄電池を含め、28年1月下旬に設置

酒井 役場本庁舎の太陽光発電の能力と設置時期は。

酒井 事業費のうち補助金はどの程度か。

酒井 町内で太陽光発電設置済みの施設は。

総務部長 庁舎屋上に太陽光パネルを63枚設置する。発電能力は15kWで、併せて20kWhの蓄電池を設置、平成28年1月下旬に設置完了予定である。

総務部長 総事業費3990万円を予算計上し、環境省から3742万円の補助金交付決定を受けている。事業費決定後、交付額は変更するが、約93%の補助金を見込んでいる。

総務部長 資源リサーチセンター、各小中学校等6か所に設置している。現在、中央公民館や北保育園で施工中、健康文化センターは28年度を予定している。

酒井 町内の一般家庭の太陽光発電の状況は。

産業建設部長 町の補助制度を利用した世帯では、26年度末現在で、設置件数はのべ412件である。



酒井 正宗

風力発電、マイクロ水車発電の検討は

部長 環境・コスト面で難しい

酒井 風力発電、マイクロ水車発電の検討は。

産業建設部長 風力発電は、年間を通じて必要な風量が確保できる地域でなく、低周波音や騒音の被害も想定されるため、建設には適さないと考えられる。

酒井 マイクロ水車発電は、年間を通じて安定した水量が確保できる河川・水路がなく、コストに見合うだけの発電量の確保が難しいと考えられる。

酒井 南小学校に風車と太陽光発電の照明が設置されているが、他には。

総務部長 24年度に町内企業

酒井 町のエネルギー関連では、住宅用太陽光発電設備設置補助金がある。

産業建設部長 クリーンエネルギー

酒井 水の設置計画がある。と聞いたが、その状況は。

産業建設部長 国道41号沿いの民間所有地で計画がなされたが、設置には至っていない。

酒井 町のエネルギー関連では、住宅用太陽光発電設備設置補助金がある。

産業建設部長 クリーンエネルギー

酒井 水の設置計画がある。と聞いたが、その状況は。

産業建設部長 国道41号沿いの民間所有地で計画がなされたが、設置には至っていない。

酒井 町のエネルギー関連では、住宅用太陽光発電設備設置補助金がある。



南小学校の風力発電付外部照明(LED)



丹羽 孝

町有資産管理

固定資産評価シートの整備促進を

部長 3年をかけ整備をする

【固定資産評価シート】

丹羽 道路の老朽化率が平成25年度で71.5%と高いのはなぜか。

総務部長 過去に整備された

道路は損傷すれば修繕するが、現状復旧する修繕は、資産価値は増加しないとみなし、「資産」計上をしないで「修繕費」に仕分けしており、老朽化率が高くなっている。

丹羽 固定資産評価シートとリンクして実務管理ができるように整備が必要では。

総務部長 道路の管理は修繕

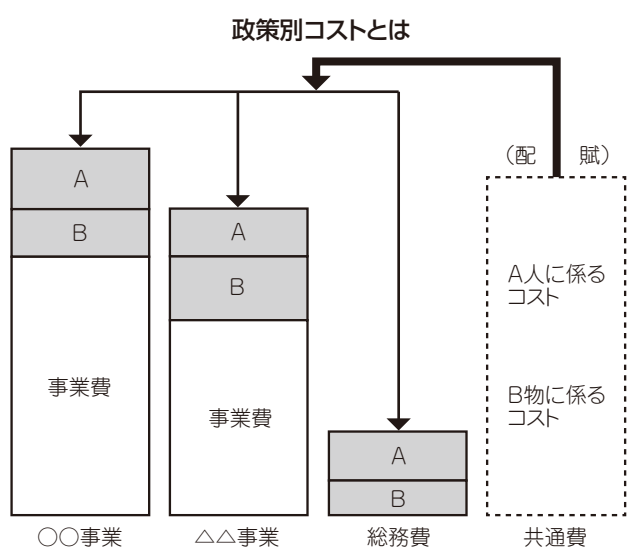
の度合いによって再評価価格を見直すことが必要

【政策別コスト情報】

と考えている。今後3年をかけて、評価・管理方法などを見直し、道路台帳と固定資産評価シートがリンクできるように整備していく。

丹羽 「行政経営計画書」「決算に係る主要

施策の成果報告書」には人件費などが入っており、各事業の行政コストがわからない。政策別の行政コスト情報開示ができないか。



A 人に係るコスト=人件費、賞与引当金繰入額、退職給与引当金繰入額
B 物に係るコスト=減価償却費、支払利息、資産処分利益
事業費=事業に直接かかった費用

総務部長 小規模自治体では職員は複数業務を担当しており配分が難しいと考

えるが、まずは職員が普段から、自分のコストはどのくらいなのかを意識しながら職務に当たる習慣づけから取組みを始める。

投票率アップ

選挙公報の発行を部長 有用性は認識している

丹羽 選挙で投票率の低下が止まらない。町の見解は。

総務部長 居住地域への愛着度

が高いと投票率も高い。情報公開の充実により、本町をよく知ってもらい町への愛着を高め、投票率向上に努力していく。

丹羽 投票行動促進のため、投票所ごとの

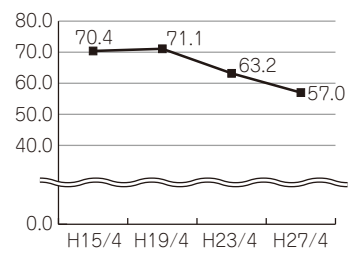
投票率の発表ができないか。

総務部長 広報無線により、選挙当日分を投票啓発のため速報している。期日前投票を含めた投票結果はホームページに町全体を載せているが、投票所ごとでも可能であるため今後検討する。

丹羽 選挙公報は候補者の主張を知らせる重要なツールである。県知事選でも有効なことが示されている。本町で選挙公報が発行されないのはなぜか。

総務部長 県内では4割の町で選挙公報が発行されている。有用性は認識しているが、時間的な余裕がなく発行していない。発行している他町の状況を研究していく。

大口町議会議員の選挙投票率推移 (%)



国保税

所得が低いほど負担が重い 参事 認識している

吉田 所得が低いほど、重い税負担となっ

ている認識はあるのか。

健康福祉部参事 国保加入者の所得

水準は、年間所得200万円以下の世帯が約7割となつている。

吉田 国に対して、国庫負担を増額するよ

うに求めている。

健康福祉部参事 定率国庫負担金は

当初40%だったが、平成24年度から32%となつてい

る。30年度からの国保運営の都道府県化に伴い、国と地方で議論がなされているが、加入者の高齢化により国保財政が厳しくなることが予想されるた

吉田 子どもの人数が増えなくても、国保税が増えないようにしてほしい。

健康福祉部参事 現在、国保の医療制度改革の中で、国と地方3団体により、子どもに対する均等割の軽減措置の導入が議論されているが、結論には至っていない。



吉田 正

マイナンバー

悪用されないか

参事 本人確認を徹底する

吉田 「なりすまし」による事件は防ぐことはできない。住民基本台帳カードでの「なりすまし」は平成21年から24年までに全国で103件も起きている。

健康福祉部参事 個人番号カードの

交付は、病気などの理由がある方を除き、申請者本人に来ていただく。

その際は、必要書類の他、本人確認として、運転免許証、旅券などの顔写真付きの証明書類の提示を求め、それらがなければ、氏名や生年月日、住所の記載された保険証、年金手帳などを2点提示いただいた上で交付することとしている。また、写真に疑義がある場合に、同一人物が判定できる顔認識システムの導入を予定している。

「なりすまし」を防ぐには、個人番号カードの交付時の窓口対応が重要となる。本人確認を厳格に行うよう職員に徹底するとともに、カード交付を申請される方には、本人確認を行う必要性を理解協力いただけるよう対応する。

フェイスブック等、SNSの活用は

総務部長 セキュリティ対策が必要、慎重に検討する



岡 孝夫

岡 「i広報紙」による情報発信はできないか。

総務部長 「i広報紙」には様々な利用方法があり、町内を始め他市町村の方に本町の情報を収集していただく上で便利に活用いただけると考える。

情報発信の技術は進化し続けており、どのようなサービスがより効率よく情報伝達できるかを含め、検討したい。

岡 フェイスブック等、SNSを利用した情報発信はできないか。

総務部長 フェイスブックは、リアルタイムに情報発信できる有効な手段だが、アカウントの乗っ取り防止

等、公的に利用するには万全のセキュリティ対策が求められるため、慎重に検討していきたい。

本町の中型バスのロゴにある「ハイテク」の4文字は町のイメージを損ねていないか。

岡 また、中型バスも「ミニ二テイバス同様、広告媒体として利用できないか。」

総務部長 中型バスの外観は、平

成10年の購入当時のままである。

「ハイテク」のロゴは、若干時代遅れの感はあるが、町のイメージを損ねているとは考えていない。

中型バスへの広告掲載は、側面などへの有料広告掲載が維持管理費の一部に充てることのできるよう検討していきたい。

広報こうなんをスマートフォンやタブレットへ配信します！

無料アプリ「i広報紙」で広報こうなんをお届けします。

江南市では、無料アプリ「i広報紙」を使って、広報こうなんをスマートフォンやタブレットへ配信するサービスを導入しました。

何ができるの？

- 最新号のi広報紙が閲覧できます(バックナンバーあり)。
- 気になった記事を画面上で切り取り、保存ができます。
- ページめくりや拡大、縮小も簡単にできます。

「i広報紙」江南市ページ

広報紙をもっと身近に
i 広報紙

無料アプリで情報を配信(出典:江南市ホームページ)

あいち森と緑づくり事業

民有地の緑化推進要綱の整備を

部長 平成28年4月の実施をめざす

岡 町全体(個人法人)で、今までに支払った「あいち森と緑づくり税」の税額、今後支払わなければならない税額は、

総務部長 個人分は、平成21年度から本年度までの7年間で3976万円を支払っている。30年度まで課税されるため、試算では今後3年間で1763万円を支払うことになる。

法人分は、法人県民税申告時、均等割にその5%相当額を加算し、県へ納付することとなっております。税額は把握していない。

岡 この事業は、民有地の緑化推進にも活用できるが、そのための要綱を整備していない市町村はどこか。

産業建設部長 県内では、15市町村が要綱を整備していない。

岡 要綱は今後、整備していくのが、

産業建設部長 民有地の緑化を推進していくため、28年4月から実施できるよう、要綱を策定していきたいと考える。

民有地の緑化を推進していくため、28年4月から実施できるよう、要綱を策定していきたいと考える。

小中学生の使用を禁止しては 教育長 禁止ではなく、マナー教育に力を入れる

富田 メール等のやり取りで返事をしないと仲間外れになるようなスマホの扱いを見過ごしていいか。

生涯教育部長 各小中学校では、スマホの利用をはじめとする情報モラル指導を重点課題として位置づけ、高学年を中心に、携帯電話やインターネットの特性を学び理解を深めさせ、「ネット上のいじめ」など

が起きないように努めている。 中学校では、入学説明会やPTA総会でスマホ等の利用、情報モラルに対し、保護者の理解と連携を求めている。

富田 生徒、教員、保護者、教育委員会で話し合う機会をつくり、正しい利用を指導、夜のスマホ利用を禁止する考えはないか。

町としては今すぐ禁止ではなく、マナー教育に力を入れていくべきと考えている。

昨年作成した「子育て10か条」では、スマホゲーム等に関し、家庭でのルールづくりを勧めた。子どもが納得した上でルールを守るような働きかけが大切である。特に、中学校では、生徒自らが主体的に考えるよう指導している。



宮田和美

柿野橋下流側に歩道橋を

町長 国道41号の6車線化に向け、包括的に考えていく



柿野橋(写真中央)の歩道橋は、上流側(写真左)にはあるが、下流側(写真右)にはない

富田 国道41号に接続する町道野合線には右折帯がなく、朝夕のラッシュ時、非常に渋滞する。野合線に右折帯を整備できないか。

産業建設部長 朝夕のピーク時、野合線から国道41号へ流出する車両のうち約3割が犬山方面へ右折する。交差点付近には店舗及び工場が隣接しているため、すぐに道路用地を確保して拡幅することは困難である。

富田 合瀬川に架かる柿野橋の上流側には歩道橋があり、小学生や通勤者が利用している。しかし、何度も横断歩道を渡らなければならない。下流側に歩道橋を設置してはどうか。

町長 国道41号の6車線化に向け、野合線を含め、他の国道と接続する町道の交差点や周辺整備については、国道事務所や警察などと協議を重ねて進め、包括的に考えていかなければならない必要がある。

子ども読書通帳の導入を 部長 実施に向けて検討している



柘植 満

柘植 「子ども読書通帳」は、借りた本の履歴を残すことにより、読書に挑戦し、読書意欲を高める効果が期待される。財政負担を抑えたものもある。導入への考えは。

生涯教育部長 専用機械を使って記帳する読書通帳は全国で約10団体が導入している。専用機械の導入に約500万円、年間維持費に10数万円必要となる。手書きやシールを張る簡易な通帳は県内で10団体が導入している。

現在、図書館では、読書通帳の実施に向けて、よりよいものを検討している。

特定外来生物の駆除を

部長 広報紙等で周知、

対象動物は捕獲している

柘植 特定外来生物による生態系の被害は大きい。オオキンケイギクは繁殖力が強く、植物の生態系の生息域を奪っている。

自治体で、ボランティア団体等の環境の取組みとして駆除しているところもあるが、町の考えは。

産業建設部長 「身近な来種が増えている」「駆除活動の重要性を知る」という環境の側面からは意義のある取組みだと考える。

しかし、繁殖範囲を正確に把握することは難しく、駆除に対する危険性の観点から、地域の方の協力による駆除活動まで

には至っていない。

柘植 黄色の花で、親しまれている場合もある。特定外来生物の周知を。

産業建設部長 町民の方には、オオキンケイギクを始め、外来生物や特定外来生物に

ついて広く知ってもらうため、広報紙やホームページでその概要や生態系、生息・繁殖情報、駆除方法の提供・周知を図っていくたい。

柘植 特定外来生物の又、トリアはイネを食い荒らす。町の被害状

況、捕獲状況は。

産業建設部長 又、トリアは毎年捕獲されており、田植え直後のイネが食い荒らされ、畑の野菜がかしられる等の被害が発生している。

被害を受けた農地面積や被害額までは把握していないが、目撃情報が寄せられた時は、職員と猟友会の方で現場確認し、ワナを仕掛けるなどの対策を講じている。

この植物を植えたり、
拡げたりすることは、
禁止されています。



オオキンケイギクは、「特定外来生物」です！
(出典:環境省九州地方環境事務所)

- 外来生物**
他地域から人為的に持ち込まれた生物のこと。生態系や経済に重大な影響を与えることがあり、環境問題の一つとして扱われる。
- 特定外来生物**
外来生物のうち、生態系、人の生命・身体、農林水産業へ被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から指定されたもの。アライグマ、ヌートリアなど。

初めての 議会報告会

ぜひ、お出かけください！

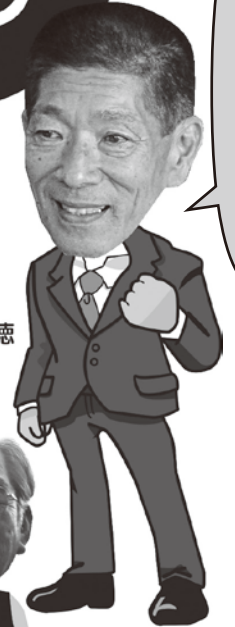
お待ちしております！



大島保憲



倉知敏美



木野春徳

午後 6時 ~ 7時 30分

11/7 土

健康文化センター 1階
多目的室



大竹伸一



丹羽 孝



柘植 満



宮田和美



酒井正宗

皆さまの声を
お聞かせください。
お待ちしております。



吉田 正



齊木一三



船戸光夫

内容

9月議会報告・意見交換



鈴木義彦



伊藤 浩



丹羽 勉



岡 孝夫

主催 / 大口町議会

TEL 95-1702 (直通)

デザイン協力：大口町NPO登録団体 ZOOM

石川県かほく市

「上下水道の一体化管理」

視察地の概要

石川県9番目の市で人口3万4968人、面積64.76km²。ルビーロマン(ブドウ)が地域ブランドとして全国的にも有名です。

一体化管理の成果

かほく市では下水道の整備がほぼ終了し、維持管理や設備更新が事業の中心となっています。

上下水道の包括民営委託は、民間事業者の有するノウハウや技術力を積極的に活用することにより、コスト削減と維持管理水準を合わせて確保する目的で導入されました。

上下水道一体化管理の効果として、5年契約によるコストの削減ができ、5年間で8%約7500万円と大きなコスト削減

効果がありました。

マンホールふたの有効活用

市の管理する歩道のマンホールふたを市内で活躍する企業の広告宣伝媒体として活用するもので、ふたの絵柄をスマートフォン等で読み込むと企業のPR動画が放映される仕組みであり、市内のどこのマンホールでも簡単に利用できます。

事業効果としては、メディア等への露出により知名度の向上と下水道への関心の高まりやスポンサー企業の宣伝効果につながったとのことでした。

市の担当者が「老朽化したインフラの更新も合わせ、一石二鳥です」と自賛されていたのが印象的でした。



かほく市役所で



マンホールふたを企業のPRに

所感

本町も下水道の整備はほぼ終了し、今後は設備更新や維持管理が中心となってきます。先進事例を参考にし、施設の管理と運用のコストダウンを図ることが肝要と感じました。

石川県珠洲市

「バイオマスタウン」

視察地の概要

石川県の能登半島先端に位置する市で人口1万5680人、面積247.26km²。TVの朝ドラで舞台となり観光客が増加し、地域ブランドの塩は売切れ続出の人気です。

バイオマスタウン構想

自然と共生する市を目指し、6つの取組みがされています。

①生ごみの分別活用では、家庭ごみなどの一般廃棄物を主原料とする、ゴミ固化燃料(RDF)によるエネルギー源、②家畜用排泄物等の良質な堆肥

の生産利用促進、③地の利を生かし海藻の利活用、④水産残さの利活用、⑤木質バイオマス等の利活用、⑥廃食用油の利活用。

バイオマスを使うメリットとしては、CO₂の排出量を減らし、地球温暖化をふせぐ、使い捨てからリサイクルへの循環型社会への移行を促進する、バイオガスや肥料などエネルギーや素材を供給するなどがあります。

バイオメタン発酵施設

公共下水汚泥・農業排水汚泥浄化槽汚泥・し尿生ごみの5種類を混合処理して発生させたバイオガスを熱源利用します。

バイオマスってなに?

◎バイオマスとは、動物物から生まれた再生可能な有機性資源です。
◎バイオマスの種類には、廃棄物系のもの、未利用系のもの、資源作物系ものがあります。

<p>廃棄物系バイオマス</p> <p>畜産資源(家畜排せつ物など) 食品資源(加工残さ、生ゴミなど) 産業資源(廃棄古紙など) 林業資源(製材工場残材、建築廃材など) 下水汚泥</p>	<p>未利用バイオマス</p> <p>林産資源(林地残材) 農産資源(稲わら、もみガラなど) 海藻</p>	<p>資源作物バイオマス</p> <p>糖質資源(さとうきび、てんさい) でんぷん資源(米、いも類、とうもろこしなど) 油脂資源(なたね、大豆、落花生など)</p>
--	--	---

バイオマスタウン構想(概要版)から

所感

本町も経営計画で「泥肥料「為五郎」という名前前で市民に無料配布されていました。

本町も経営計画で「減量・資源化事業、廃棄物処分事業など、持続可能な循環型社会の創造を行っています。目的達成に全町で努力していくことが必要と感じました。

長野県富士見町 「公民館・博物館と 複合化した図書館」



冬はこたつが置かれる畳コーナー

視察地の概要

菊やカーネーションの栽培が全国トップ、自然に囲まれた町で、人口は約1万5000人です。

本の貸出し件数16年連続日本一

図書館は、公民館・博物館と同じ建物内にあります。人口一人当たりの本の貸出し件数が、同規模自治体の公立図書館の中で16年連続日本一、平成25年度は一人当たり約16冊でした。ただ最近、住民の高齢化が要因で貸出

し件数が減少傾向にあり、今後の課題となっています。

利用者の目線

館内は本棚が低く、全体に空間があり、外を見渡せる畳コーナーは冬にはこたつが置かれ、地域ならではの工夫がやすらぎを感じます。

開館時間は、通常は午前9時30分から午後6時までですが、火・金曜日は午後8時までで、公民館の行事で訪れた際は、待ち時間や空き時間に立ち

寄ることができてよいと利用者の声があります。

所感

「気取らないで来ていただけるよう、本だけでなく漫画本も他の図書館より多く置いている。地域から求められるものや楽しめるよう考えながら運営している」とのことです。

館内は居心地がよく、また、高齢で図書館に来られない方の代わりに本を借りて届けたり、老人施設での読み聞かせのボランティア活動を行っています。利用者の声を生かすなどの工夫が感じられ、貸出し件数が日本一になったのも納得できるような図書館でした。

長野県安曇野市

「学習館・多目的ホールと複合化した図書館」

視察地の概要

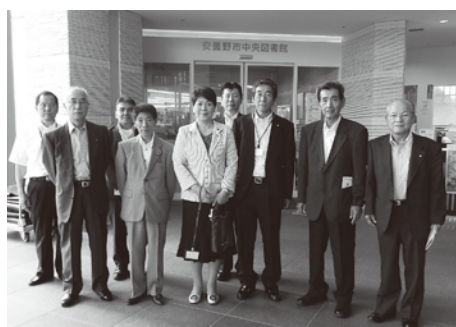
平成17年10月に5町村の合併により誕生した市で、人口約9万8000人です。中部山岳国立公園の山岳地帯で、山々に囲まれた地域です。

中央図書館として

市内にある5つの図書館の中で21年に開館、「安曇野市穂高学習交流センターみらい」として、中央図書館に位置づけられています。複合施設として地域学習館・多目的交流ホールも同じ建物内にあります。

複合施設による課題も

正面玄関のエントランスホールには、待合せに利用できるカフェコーナーもあります。



安曇野市中央図書館で



待合せに利用できるカフェコーナー

図書館は、20万冊まで蔵書可能。館内の通路は広く、駐車場から館内まで、すべてバリアフリー化され、障がいのある方への配慮が行き届いています。

所感

「無駄と思われる空間も必要」との考えから、天井が高く、明るいエントランスホールが採用され、平屋建(多目的交流ホール部分のみ2階建)ということもあり、子どもからお年寄り、障がいのある方まで、誰もが利用しやすい図書館でした。

地域学習館には36席が用意され、気軽に学習できます。また、多目的交流ホールは200席あり、発表会や交流の場として幅広く利用されています。

南小の空調設備を視察

8月27日、空調設備の状況を調査するため、南小学校を視察しました。

現在、第1期工事が進められている北保育園では、地下水を利用した冷暖房設備を導入しますが、南小学校でも、地下熱(空気)を利用して冷暖房を行います。

両者の仕組みは違いますが、「水」と「空気」という自然のエネルギーを使用する点では共通しています。

ふれあい階段で、北保育園・南小学校それぞれの工事担当者から設備の説明を受けた後、床下に空気の通り道が施工されている屋内運動場などを視察しました。



「空気の通り道」が見られる通路



ふれあい階段の空調にも地下熱が利用されている



屋内運動場の床下には空気の通り道がある

広報研修会を受講

8月21日、第28回愛知県町村議会広報研修会(於 アイリス愛知)が開催され、大口町議会広報常任委員会委員始め県内16町村議会の議員及び事務局職員等が受講しました。

「住民に読まれ、議会活動が伝わる議会広報の基本と編集技術」と題し、議会広報サポーターの芳野政明氏から説明を受けました。

研修では、自治体における議事を公開し、議会に関する情報を住民と共有する手段である議会広報のあり方などの講義を受けました。

また、事前に添削指導を希望した町村議会の広報を実際に見ながら、「よいところ」「見直したいところ」について、芳野先生から指導がありました。

本町議会は「議会だより202号」の添削を希望しました。先生から、「一般質問のページ見出し」「まちの元気者」は評価する一方、「例年、記事がパターン化している箇所」「金額の見出し」には見直すべき点があるとの指導を受けました。

議会広報の充実は、議会改革の一つです。「伝える広報」から「伝わる広報」に向け、今回の研修会で学んだことを、今後の議会だよりの編集に生かしていきます。



添削指導を受けた議会だより202号



県内の16町村の議会議員が受講

松江市との姉妹提携盟約

平成27年8月29日、島根県民会館大ホールにて、松江市・大口市姉妹都市提携調印式が執り行われました。

式典には、堀尾史蹟顕彰会会長、丹羽ライオンズクラブ会長、大口市長の他、議長を含む6議員、計29名が出席しました。

また、松江市議会の山本勝太郎議長と大口市議会の木野春徳議長により、記念品の交換が行われ、松江市からは、国指定の伝統工芸品「出雲石灯ろう」の原材料である来待石に松江城を刻んだインテリアライトが贈られました。大口市からは、工作機械で堀尾公の像を切削したアルミプレートを贈りました。



来待石に松江城を刻んだインテリアライトと堀尾公の像を切削したアルミプレートを交換



式典当日は、4会場で「松江だんだん夏踊り」を開催



7月8日、国宝に指定された松江城

両市町のさらなる発展に向けて

この度、島根県松江市と、松江開府の祖であり、国宝松江城を築城した堀尾吉晴公の生誕地という縁により、姉妹都市提携を結ぶこととなり、その調印式に同席し、記念品の交換をさせていただきました。

大口市にとっては初めての姉妹都市提携でありますが、これまで堀尾家の縁により、長年続けられてきた民間による交流が、大きな礎となった提携でもあります。

議会としても、これを機会に、議会改革の進んでいる市議会との交流や情報交換を推進するとともに、行政間による人事交流や地域振興、町づくりなど、様々な分野での交流が進み、両市町がさらに発展できるように、支援、協力していきたいと心新たにしました。

(議長 木野春徳)

今回は、 「グリーン・グランドパパ」 (GGパパ)の皆さんです。

—子どもたちの安全安心な登下校を願って—

まちの 元気者

♪ 始めたきっかけは？

4年前、小学生の登校時に車が突っ込む事故の報道があり、地元の小学生の安全安心に危機感を持ち、団塊の世代のおじいちゃんが立ち上がり、事故にあわないように見守ることになりました。

♪ 毎日の活動の様子は？

通学班の集合場所から大口南小学校までの通学路は、通勤車両が非常に多いため、子どもたちの前後を見守り、毎日元気な挨拶をもらって、GGパパたちも張り切って頑張っています。

「継続は力なり」ということわざのとおり、GGパパは全員で子どもたちの安全安心を願い、元気に見守り活動を続けています。

♪ 町や町議会への要望は？

将来を担う子どもたちに事故なく成長してもらうために、登下校時、地域を挙げて見守り活動に参加していただくと、抑止効果になります。

行政、町議会の皆さん、今以上に「子どもたちの安全安心」に関心を寄せ、応援をいただきたいと願っています。



登校中の小学生を見守る



メンバーの皆さん

取材を終えて

代表の江口國高さん、大変ありがとうございました。今後、このような活動がますます大口町に深く浸透することを願っています。

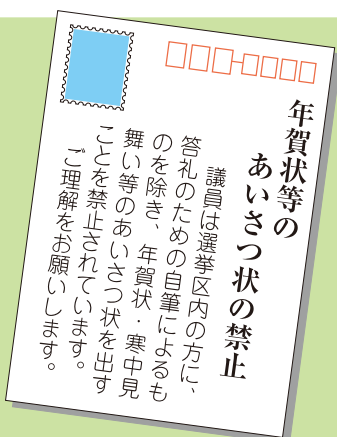
(鈴木義彦)

表紙の写真

元気に **ヤー!**

初めての鳴子踊りに挑戦。力強い掛け声と、鳴子の音を会場中に響かせながら、笑顔いっぱい踊ることができました。(大口幼稚園児)
=9月12日 やろ舞い大祭

発行責任者 議長 木野春徳
議会広報常任委員会 委員長 伊藤藤孝
副委員長 酒井孝正
委員 鈴木義彦
丹羽孝彦



会議録が閲覧できます

<http://www.town.oguchi.aichi.jp/2741.htm>



みなさん議会傍聴に 来てください

12月定例会予定

- 11月26日(木) 提案説明
- 12月 1日(火) 質疑
- 12月 2日(水) 質疑・委員会付託
- 12月 4日(金) 総務建設常任委員会
- 12月 8日(火) 文教福祉常任委員会
- 12月10日(木) 一般質問
- 12月11日(金) 一般質問
- 12月15日(火) 討論・採決

手続きは簡単です!
役場3階で住所と名前を書くだけ